



京都府丹後保健所HPバナー

No.5

新型インフルエンザ NEWS

毎月12日発行

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 (京都府丹後広域振興局)
新型インフルエンザ対策ワーキング会議

丹後保健所

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)

保健室 感染症・難病担当

〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855

TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

もくじ

- ・研修会報告.....①
- ・新型インフルエンザの医療対応(第1弾).....①
- ・用語解説(発熱相談センター).....②
- ・備蓄倶楽部(Part 1).....②

研修会報告

丹後保健所では、新型インフルエンザ対策を推進するため、関係者等を対象に研修会を開催しています。

研修会では、新型インフルエンザの基礎知識やガイドラインに基づく関係機関の役割についての講話、マスクの着用方法や手洗いの実習も行っています。

平成20年4月～9月末現在で、医療従事者、府職員、市町職員等、計1,054名に参加していただきました。

参加者からは、「縦割り行政なので、全体での会議、取組が必要(市町保健師)」「住民にはまだまだ知られていないので、繰り返し啓発が必要(市町職員)」などの感想がありました。



マスク着用方法の実習風景

新型インフルエンザの医療対応 第1弾

第1弾は、公衆衛生的な対応について説明します。

新型インフルエンザの医療対応は、医療従事者や保健所職員などが主体となって取り組むこととなり、海外で新型インフルエンザ患者が発生した時点で、保健所ごとに「**発熱相談センター**」が設置され、感染が疑われる発熱患者からの相談を電話で受け付けます。

「**発熱相談センター**」では、院内での感染を防ぐため、医療機関(協力病院)の敷地内等に設置される「**発熱外来**」での受診調整を行います。

医療対応

□**症例の早期発見**(一刻も早い対応のために)
→**疑い症例報告システム**の確立
(医療機関において)

□**発生初期の対応**(状況把握と拡大防止)
→患者の接触者調査
→発症予防のための抗ウイルス薬の予防投与&薬剤以外の感染防御策

□**医療としての対応**(拡散前に抑え込む)
→**発熱外来**の設置と医療機関での隔離
→医療機関での検査
→院内感染対策

□**初期の感染拡大を予防**
→保健所ごとに**発熱相談センター**の設置

また、患者や疑わしい症状のある人を早期に把握するため、**疑い症例報告システム**が稼働します。

実際に新型インフルエンザ患者が発生した場合、感染症法に基づき、感染症指定医療機関への入院勧告・措置が行われ、適切な医療が提供されます。

さらに感染者が拡大した場合は、一律的な入院ではなく、重症者を中心にした入院対応がとられます。

また、患者と接触した人たちの調査や、抗ウイルス薬の予防投与による感染拡大の制御も始まります。

このような様々な取り組みにより、拡散の抑え込みを図ることになります。

まずは「**発熱相談センター**」に電話しなくちゃ!



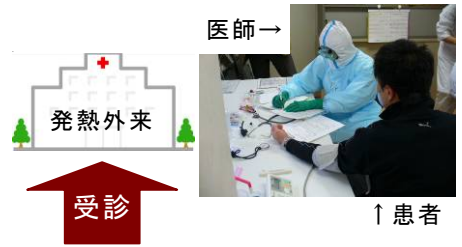
ソナウレ君

第2弾では、薬剤の使い方などについて掲載する予定です。

<参照:厚生労働 5月号 2008年(冊子)>

(用語解説) 発熱相談センター

海外で新型インフルエンザ患者が発生した時点で、保健所に「発熱相談センター」が設置されます。その役割は自分が感染したのではと不安を抱える人から電話相談を受け、感染が疑われる場合は、受診先での院内感染を防ぐため、受診調整をし、「発熱外来」（協力病院に設置）を紹介します。「発熱相談センター」は、初期の感染拡大を予防する重要な役割をもち、皆さんの冷静な行動と協力が重要になります。



電話相談

①状態の確認

渡航歴や接触の可能性の確認。症状とその出現時期等

②「発熱外来」との受診調整

(保健所)

発熱相談センター

③「発熱外来」の受診場所と時間の案内

<受診時の注意事項>

- ・マスクの着用
- ・医療保険証の持参
- ・ティッシュやビニール袋の持参など

～情報の贈り物～

備蓄倶楽部 Presents

Part 1

丹後保健所では所内設置の備蓄倶楽部を中心に、新型インフルエンザ発生時の外出自粛に備えて、食料、台所用品、日用品、医薬品など備蓄物品の検討をしています。丹後保健所ホームページ（新型インフルエンザ対策）には、「備蓄食料購入リストの例（大人・1人・2週間分）」、「備蓄食料の調理例」「14日間の献立例」を掲載していますので、ご覧ください。

1日平均約2100kcal、2週間分の食事が作れるように考えています。家族のある方は、右表を参考にしてください。

丹後保健所玄関ホールと丹後広域振興局（峰山庁舎）府民ホールに備蓄物品展示コーナーを設けています。

表 1日に必要なエネルギー量

(目安であり活動量により幅があります。)

成人男性	2300kcal
成人女性	1750kcal
中学1年	2650kcal
小学1年	1650kcal

新型インフルエンザ対策のモデル国 スイス

新型インフルエンザ対策のモデル国と言われるスイスでは、住民の予防対策として、「マスクを1人あたり50個備蓄しておく。」「手を石鹸で定期的に洗う。鼻をかんだり咳をする時はティッシュを使い、すぐゴミ箱に捨てる。握手は避ける。」ことを勧告しています。



また、国の予防対策として、タミフルを200万人分、プレパンドミックワクチンを800万人分（人口700万人）備蓄しています。

しかし、最近のスイスでの世論調査によると、一部の人ではマスクの備蓄を面倒だと感じ、半数がパンデミックは起こらないだろうと考えているという記事もありました。

モデル国のスイスでも、住民への予防対策や備蓄に関する啓発が難しいのだとわかりました。



丹後保健所玄関ホールの展示コーナー

新型インフルエンザNEWS No.6

(平成20年11月12日発行)

- ・トピックス
- ・新型インフルエンザの医療対応(第2弾)
- ・用語解説(タミフル・リレンザ)
- ・備蓄倶楽部(Part2)

次号